

沖縄戦の記憶を次々世代へ

— 戦後80年を越えて平和活動の継承を模索する —

「語り」を受け継ぐ先に、次々世代の未来がある。記憶をめぐる新しい対話へ、あなたの声もぜひ。

8月23日(土) 14:00~17:00

会場: 沖縄大学アネックス共創館 (那覇市字国場405番地)

2025年、沖縄戦から80年を迎える本年は、戦争体験者の多くが高齢となり、「語り継ぎ」の形も大きな転換期を迎えている。記憶の継承が「次世代」から「次々世代」へとバトンを渡すこのタイミングで、戦争体験を直接知らない世代がどのようにその記憶と向き合い、伝え、社会と共有していくのかを問い直す必要がある。

本シンポジウムでは、戦争体験者からの聞き取りを実践してきた吉川麻衣子さん、沖縄の記憶から日本軍「慰安婦」問題の暴力について問うてきた洪琬伸さん、反戦芸術の展示と教育活動に取り組んできた上間かな恵さん、鉄血勤皇隊であった戦争体験者への寄り添いをしてきた大田光さんをお呼びして、多様な視点から沖縄戦の記憶と継承問題についてお話をさせていただく。記憶の継承における実践と課題、可能性を議論することで、未来への継承の道を共に模索する場としたい。

<<プログラム>>

- 14:00~ 開会挨拶 山代寛氏 (沖縄大学 学長)
- 14:05~14:15 趣旨説明 司会 藤原健氏 (琉球新報客員編集委員, 沖縄大学客員教授)
- 14:15~15:35 パネリスト4名によるプレゼンテーション
吉川麻衣子氏 (沖縄大学人文学部教授, 臨床心理士)
洪琬伸氏 (沖縄大学人文学部准教授, 日本軍「慰安婦」研究者)
上間かな恵氏 (佐喜真美術館学芸員)
大田光氏 (養秀会館 一中戦没学徒資料室 解説員)
- 15:35~15:45 休憩
- 15:45~16:35 パネルディスカッション
- 16:35~16:55 質疑応答
- 16:55~ 閉会挨拶 須藤義人氏 (沖縄大学地域研究所 所長)

8/21(木)までにお申し込みください。

申込先【QRコード】

本学HPにも申込先URLを掲載しています。氏名・連絡先・所属等を入力の上送信してください。講座日2日前までに、お申し込み確認メールをお送りします。メールが届かない場合は前日14時までに地域研究所までお問い合わせください。



問い合わせ先: 沖縄大学地域研究所

住所: 那覇市字国場405番地
TEL: 098-832-5599
Email: chicken-staff@okinawa-u.ac.jp
窓口: 平日8:30~17:15

登壇者プロフィール

藤原 健（ふじわら けん） 沖縄大学客員教授／ジャーナリスト

1950年岡山県生まれ。早稲田大学卒業後、毎日新聞社で大阪本社編集局長などを歴任。2006年には「平和・協同ジャーナリスト基金大賞」を受賞。2016年に沖縄へ移住し、沖縄大学大学院で学び、著書『魂の新聞』を出版。沖縄戦の記憶継承や、沖縄から見た日本の安全保障を深く取材し、末期がんと闘いながら「魂の記録」を伝え続けている。琉球新報客員編集委員、毎日新聞客員編集委員（沖縄在住）も務める。

吉川 麻衣子（よしかわ まいこ） 沖縄大学人文学部教授／臨床心理士

沖縄県那覇市出身。沖縄大学人文学部福祉文化学科教授であり、臨床心理士。専門は臨床心理学、人間性心理学。沖縄戦体験者の記憶継承と心のケアに取り組み、世代・地域を越える語り合いの場の共創も研究している。性の多様性（LGBTQ+）やインクルーシブ・ダイバーシティに関する教育・研究にも関心を持つ。著書に『沖縄戦を生きぬいた人びと』など。

洪 玗伸（ほん ゆんしん） 沖縄大学人文学部准教授／日本軍「慰安婦」研究者

韓国ソウル生まれ。早稲田大学で博士号（国際関係学）を取得。沖縄大学人文学部国際コミュニケーション学科准教授。日本軍「慰安婦」問題、沖縄の歴史とジェンダー、戦時性暴力などを専門とし、多角的な視点から研究を進めている。沖縄における「慰安所」や、沖縄戦における女性の経験、記憶の継承についても深く掘り下げ、平和構築に貢献している。著書『沖縄戦場の記憶と「慰安所」』（改訂版2022年、インパクト出版会）“Comfort Stations” as Remembered by Okinawans during World War II（2020年、Brill）など。

上間 かな恵（うえま かなえ） 佐喜眞美術館 学芸員

沖縄県那覇市出身。1998年より佐喜眞美術館に勤務し、学芸員として活動。同美術館は、丸木位里・丸木俊による「沖縄戦の図」を常設展示しており、上間氏は作品を通して沖縄戦の記憶と芸術の関係性を伝え続けている。共著に『残傷の音「アジア・政治・アート」の世界へ』、『佐喜眞美術館で考える戦争と平和、命どう宝絵画が伝える力』、『新沖縄文学2025』寄稿（沖縄タイムス社、2025年）など。

大田 光（おおた ひかり） 平和学習実践者／養秀会館 一中戦没学徒資料室 解説員

大阪府出身。沖縄の高校の修学旅行をきっかけに沖縄戦の歴史に関心を抱き、大学卒業後沖縄へ移住。「養秀会館 一中戦没学徒資料室」の解説員として、沖縄戦に動員された旧制第一中学校の元生徒たちの人生と、戦争の悲惨さ・命の尊さを伝える。元生徒たちへの聞き取りを重ね、非体験者として「知り続け、伝え続ける」ことを信念とし、後世に戦争の記録を残す活動を続けている。共著に『沖縄戦を知る事典—非体験者が語り継ぐ—』など。

大学駐車場・駐輪場 案内図



お車でお越しの方は
**アネックス駐車場、
長田第1駐車場、長田第3駐車場**
をご利用ください。